【仙台】みんなで減らそうCO2～杜の都仙台～

取り組み概要

【実施エリア】

仙台都市圏

仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、七ヶ浜町、利府町、大和町、富谷町

【実施主体】

宮城県渋滞対策連絡協議会

（事務局）国土交通省 東北地方整備局
仙台河川国道事務所



【背景・目的】

日本におけるCO2排出量は、約2割が運輸部門であり、その約9割は自動車によるものです。

仙台都市圏においても、年々増加する自動車交通や都心部を中心とした慢性的な交通渋滞により、多量のCO2が発生しています。地球温暖化を防止するため、温室効果ガスの代表格であるCO2排出量を減らす取り組みを市民の皆様とともに実施していきます。

現　状

- ●仙台市の温室効果ガスは、**CO2が約98%**
- ●仙台市のCO2排出量は1990年から1998年にかけて、26%増加。特に**運輸部門は40%も増加**
- ●1990年から1998年の１人あたりCO2排出量の伸び率は、全国平均3%に対して、**仙台市は16%（約5倍）**

出典：仙台市地球温暖化対策推進計画（H14）

課　題

- ●**市民1人1人が車の使い方を再考**し、CO2削減のために、少しでも行動を起こしていくことが重要です。
- ●CO2削減に向けて、**取り組みや意識を、多くの市民と共有し、それを拡大**していくことが重要です。

取り組み内容

1. エコドライブの普及・促進

アイドリングストップや急発進・急加速を止めるなど、自動車運転時のちょっとした気くばりで、CO2排出量を減らすことができます。

このため、ドライバーや、事業者の皆さんに、「エコドライブ」の普及・促進のため、その取り組みの内容、有用性などについて理解いただくための啓発活動を行います。

2. 高速道路の利用促進

高速かつ安定した速度で走行できる高速道路では、一般道に比べCO2排出量は少なくなります。

このため、ドライバー、事業者に対して、高速道路の積極的な利用を促していきます。

3. 「かしこいクルマの使い方」の普及・促進

バス・地下鉄等の公共交通機関は、自動車に比べ、１人当たりの移動に対するCO2排出量が少なくなります。

このため、仙台市に新たに転入された方等に対して、公共交通機関の利用方法やクルマ利用と環境等との関係を示した情報を提供することにより、公共交通利用等を取り入れた「かしこいクルマの使い方」の普及・促進を図るため、啓発活動を行います。

4. 企業・市民の取り組み拡大

CO2削減効果を高めるためには、１人でも多くの皆さんに参加・協力していただくことが最も重要です。

このため、仙台都市圏において、CO2削減に向けて積極的に取り組んでいる企業・市民の活動内容等を広く紹介し、良い取り組みの活動の輪が拡大することを目指し、より多くの皆さんに、取り組み内容等の啓発活動を行います

5. 低燃費車の普及・促進

低燃費自動車はCO2排出量も少なくなります。
このため、ドライバー、事業者に対して、低燃費車の普及を促していきます。